

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	テヘラン州南部における、将来的に帰還を目指すアフガニスタン難民及びイラン人貧困層の職業能力向上
(2) 事業内容	<u>(イ) 職業訓練プログラム</u> ①基礎コース 帰還後の就業や教育の継続に際して有用な就職基礎能力の向上を目的として英語、PCの研修コースを開講した。開講に際しては、イラン・アフガニスタン両国の企業や協力団体からの情報収集に基づき、現地での国際企業や組織等への就職において最も必要とされている技術の習得が可能となるプログラムを選定した他、カリキュラムについて講師と入念に協議し、実用的な知識や技術の効率的な習得に主眼を置いた運営を図った。 ②上級コース 帰還後の就業や教育の継続に際して有用な実践的技能を体系的かつ効率的に習得することを目的としてライティング、グラフィックの研修コースを開講した。医療コース及び教育コースについては2013年7月中に開講予定である。開講に際しては基礎コースと同様に、専門技術をもつ医療者不足の解消等、現地での就職において最も必要とされている技術の習得が可能となるプログラムを選定した他、医療コースと教育コースに関しては実績のある機関と提携することにより、OJTを含めた就職に直結するプログラムの提供を行っている。 <u>(ロ) 実務研修プログラム</u> 十分な意欲・能力があり、かつアフガニスタンへの帰還の意志を有するセンターの利用者をインターン生として登用し、実務的な就業機会を提供することで、帰還後に現地社会で活躍できる優秀な人材の育成を目指した。OJT研修を通じて、利用者対応及びコース・セミナー運営等の実務を学び、オフィスワークに必要な知識・スキルの習得と実務能力の向上に取り組む機会を提供した。今後は、広報誌やウェブサイト作成等、研修内容の拡充を図る。 <u>(ハ) 情報支援プログラム</u> ①アフガニスタン国内の関係団体・企業、帰還した元難民との協力強化・情報収集 アフガニスタン国内の団体との関係や情報収集の基盤強化を目指し、イラン内務省外国人移民管理局(BAFIA)、イランの職業訓練を統括する政府機関である Technical Vocational Training Organization(TVTO)、在イラン・アフガニスタン大使館、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)、国連工業開発機関(UNIDO)、JICAイラン事務所等の行政・国際機関と協力体制の強化に向けた協議や情報交換を行った。また、アフガン難民支援に関するNGO国際会議や世界難民の日のイベントに参加し、アフガン国内及びテヘラン市内の関係団体等とのネットワーク構築に取り組んだ。 ②セミナー開催を通じての啓発・教育活動 就職・帰還に関する有用な情報の提供を目的に、アフガニスタン

	労働省 (Ministry of Labor, Social Affairs, Martyrs and Disabled, MoLSAMD) の職業訓練センター (Afghanistan-Korea Vocational Training Center) のマネージャーを講師として招聘し、セミナーを開催した。セミナーでは講師による現地の現状や産業、職業訓練等に関する最新情報をテーマとした講演を実施した。 ③ニュースレターによる情報配信 実務研修プログラムで登用したインターン生を中心に、職業訓練プログラムの出版コースにおいてニュースレターの発行に向けた訓練及び実際のニュースレター作成を進めている。 ④カウンセリングサービスによる個別相談 センターの利用者が登録を行う際に個別にセンターの目的やサービス内容、職業訓練の内容に関する簡単なカウンセリングを行った。また、セミナーの開催にあたっては参加者が講師に個別に質問できる時間を設け、講師によるアドバイスを提供した。
(3) 達成された効果	<u>(イ) 職業訓練プログラム</u> ①基礎コース のべ 52 名が基礎コース (PC 基礎・英語) を受講し、就職に際して有用な知識・技術の習得を図っている。 ②上級コース のべ 30 名が上級コース (ライティング、グラフィック) を受講し、就職に際して有用な知識・技術の習得を図っている。また 38 名が 7 月中に医療コース、教育コースを新たに受講開始予定である。 <u>(ロ) 実務研修プログラム</u> 6 名が、職業訓練センターにてインターン生として業務を開始し、実務能力の向上に取り組んでいる。また 7 月中に新たに 4 名がインターンシップ・プログラムを開始する予定である。 <u>(ハ) 情報支援プログラム</u> ①アフガニスタン国内の関係団体・企業、帰還した元難民との協力強化・情報収集 JICA イラン事務所及びイラン TVTO の協力により実現したアフガニスタン国内の職業訓練センターのマネージャーによるセミナーにおいて、69 名のアフガン難民が現地の職業訓練及び雇用状況に関する情報を得た。 ②セミナー開催を通じての啓発・教育活動 のべ 69 名が、第 1 回目のセミナーを受講し、就職情報や帰還に際して有用な情報を得ることができた。また、69 名のうち 64 名がアンケートに回答し、そのうち 86% の参加者が本セミナーが有用であったと回答した。 ③ニュースレターによる情報配信 実務研修プログラムで登用したインターン生がニュースレターの作成に向けて出版コースの研修に取り組んでいる。 ④カウンセリングサービスによる個別相談 607 名が、センターの利用者登録にあたって職業訓練に関するカウンセリングを受けた。また約 15 名がアフガニスタンの職業訓練に

(様式3)

	関するセミナーの講師より個別相談の機会を得た。
(4) 今後の見通し	本事業前半における取組みを強化・継続し、人材育成と情報発信の拡充を通じた自発的な帰還準備支援と就業機会の拡大に取り組む。職業訓練プログラムにおいては、コース受講生からのフィードバックに基づき更なる内容の拡充に取り組む。実務研修プログラムにおいてはインターン生の登用を継続するとともに研修がより効果的になるよう研修マニュアルや研修計画の策定を進めていく。情報支援プログラムにおいては、先行事業において帰還した元アフガン難民を招聘してのセミナーの開催やニュースレターの発行等を通してより実用的な情報の提供に従事していく。